

洗顔用防水エプロンの製作



<p>主な対象者の状態</p>	<p>洗面台で顔を洗う際に衣服が濡れてしまう。手、肘、肩の動きに制限があるので着脱しやすいエプロンがほしい。</p>
<p>用途・場面</p>	<p>整容</p>
<p>種類</p>	<p>衣類</p>
<p>機能・特徴</p>	<p>・はっ水生地を使用した、割烹着の形であり、車椅子と洗面台の間に水がこぼれても衣服を濡らすことなく顔を洗うことができる。 首回りから水分が衣類に沁み込まず、マグネットの力で首後ろに固定ができる。</p>
<p>使い方</p>	<p>①車椅子に座った状態で、洗顔用防水エプロンの袖に両腕を上腕まで通す。 ②エプロンの襟回り後方に縫い付けた左右のリングそれぞれに片方ずつ親指をかける。 ③上肢の挙上に困難さがある場合は、体を前傾させて、リングをかけた手を首に近づけて、リング下に縫い付けたマグネット板（マジックテープのオスメスを片側それぞれに縫い付け固定しやすくしている）を重ねて留める。</p>
<p>制作費</p>	<p>¥3,400</p>